

OS 交配 **BLACK21** (ブラック21)

F1 黒ダネ ブルーム台木用カボチャ

低温期に向かう冬春キュウリや露地の早播きキュウリに好適！

【適する作型】

- | | |
|------|------------------------------|
| ・ハウス | 越冬・促成・半促成・無加温・雨よけ（8月下旬～3月播種） |
| ・露地 | トンネル・夏秋前進・普通夏秋（3月中旬～5月播種） |

【特性】

- * タネは大きく充実しているため、双葉（貝割れ葉）の大きさは従来の黒ダネカボチャよりも大きく、垂れないのが特徴である。
- * 発芽後、胚軸は太く長く伸びやかに生育し、双葉（貝割れ葉）の付け根が綺麗に開くので、接ぎ木作業がしやすい。
呼び接ぎ木・挿し接ぎ木ともに活着率が非常に高い。
- ◎発芽から接ぎ木までの生育スピードが速いので、従来の黒ダネよりも1～2日ほど遅く播種することがポイント（呼び接ぎ木・挿し接ぎ木とも）。
- * 発芽揃いと発根力が強いため、発芽から接ぎ木までの生育は素直で旺盛、接木後から活着までの生育は順調、したがって、揃いの良い苗が育成しやすい。
- * 低気温・低地温・短日・弱光線などの悪条件下でも初根力が強く、シーズンを通して草勢が安定し、秀品多収となる。
- * 地温の高い時期の作付における「急性萎凋症」の発生がない。
- * 5～6月以降の気温と地温の上昇によって、従来の黒ダネは草勢低下が見られるが、BLACK21は耐暑性もあるため後半まで草勢が安定する。
- * 従来の黒ダネよりもブルームの発生は少ない。
- * ホモプシス根腐れ病に対しても強さを発揮する。